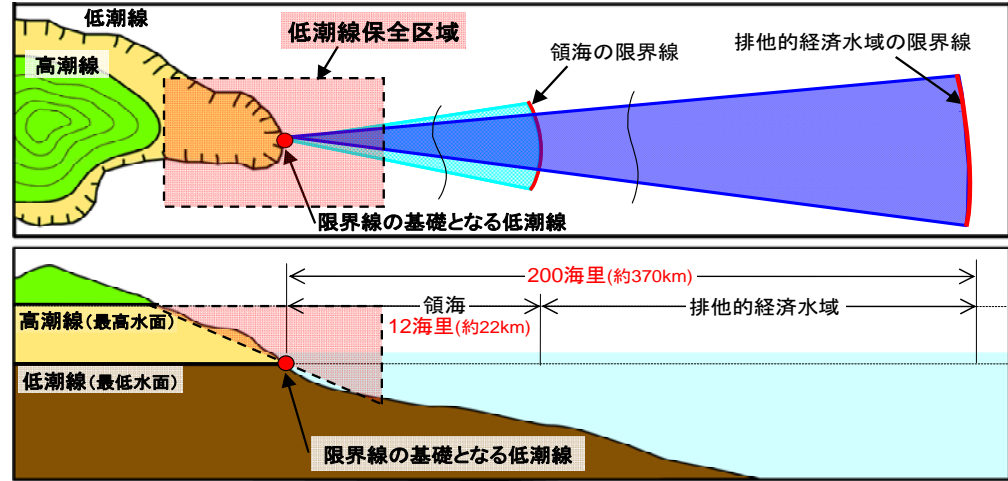
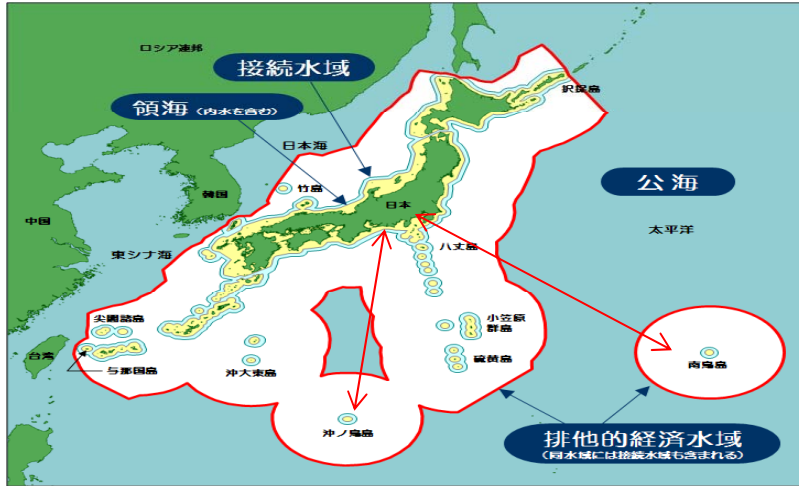


(両島の概要)

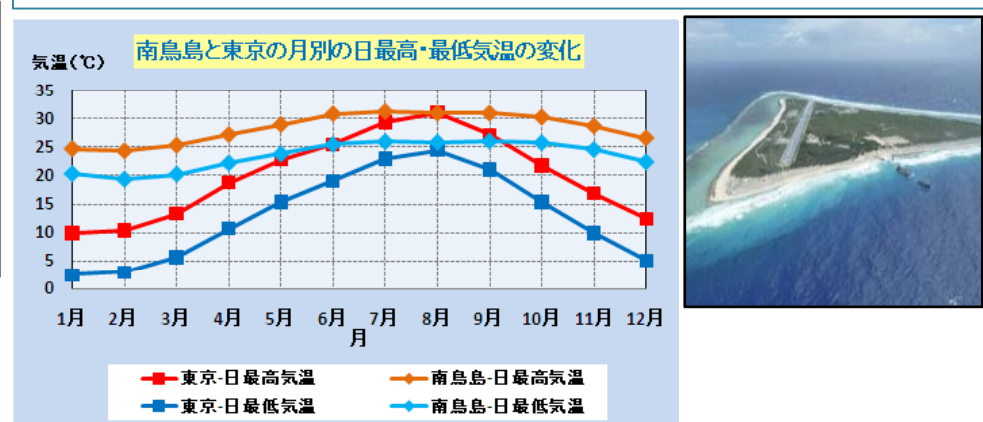
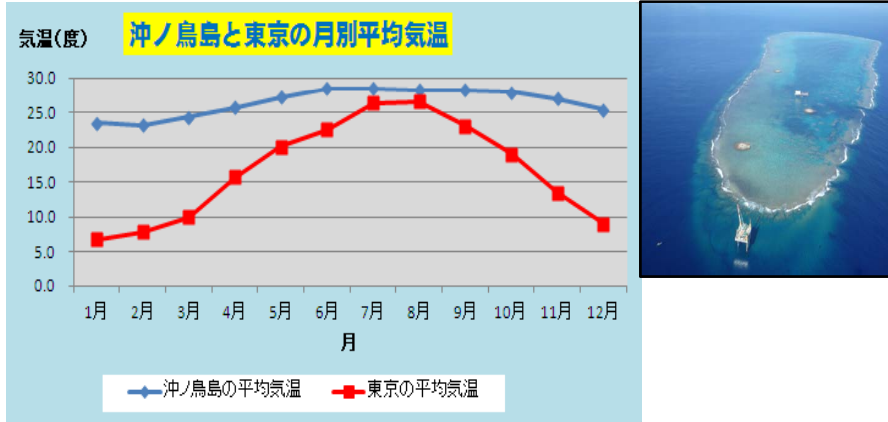


沖ノ鳥島	東京から約1,740km離れた日本最南端の島
-------------	------------------------

- 日本で唯一、熱帯気候に属し、本土と比べ年間を通じて気温が高い。(年平均気温26.5度)
- 本土に比べ厳しい波浪条件(平均有義波2m超)。(2006年の最大有義波6.76m)
- 毎年、多くの台風が通過し、台風期における沖ノ鳥島での海上工事は基本的に困難。
- 渡島の際は近海仕様以上の船舶により約4日間かけて移動。
- 食料品等については、1回/月程度の頻度にて、船舶により供給。

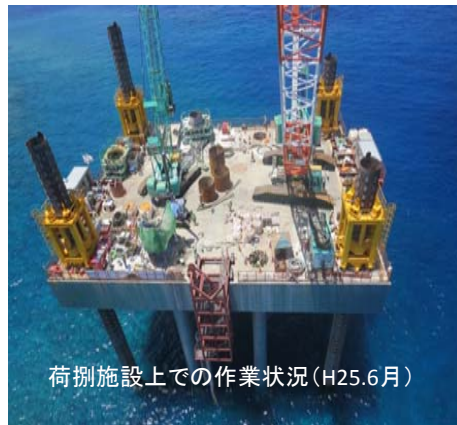
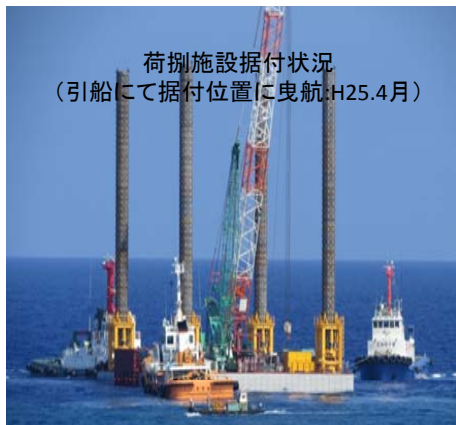
南鳥島	東京から約1,950km離れた日本最東端の島
------------	------------------------

- 熱帯気候と亜熱帯気候の推移帯にあり、高温多湿かつ年間の気温差が小さい。(年平均気温25.4度)
- 降水量は、本土に比べてやや少ない。(年間降水量898.5mm(東京(1657mm)の約54%))
- 秋期から春期にかけては平均有義波高3.5m程度と、厳しい波浪条件にある。(2006年の最大有義波8.6m)
- 渡島の際は自衛隊の航空機により約4時間かけて移動。
- 食料品等については、1回/週の頻度にて、自衛隊の航空機により供給。



(添付写真)

【沖ノ鳥島】



【南鳥島】

